



2022年4月1日

## 東京大学×講談社×メディアドゥ 寄付講座「新しい本」設置のお知らせ

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

株式会社講談社は、国立大学法人東京大学（東京都文京区、総長 藤井輝夫）、株式会社メディアドゥ（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 藤田恭嗣）とともに、デジタルコンテンツ構築・流通基盤整備への貢献を目的とする寄付講座「講談社・メディアドゥ 新しい本」を設置することをお知らせいたします（※1）。

期間は2022年4月1日～2025年3月31日までの3年間、東京大学大学院情報学環に講座を設置し、紙の書籍、電子書籍に続く、「新しい本」の開発を研究していきます。

（※1）東京大学における寄付講座とは、同学における教育研究の進展および充実を目的とし、個人または団体の寄付による基金をもってその基礎的経費を賄うものとして設置される講座をいいます。

### ◆本寄付講座の目的

寄付講座「講談社・メディアドゥ 新しい本」は、紙の書籍や電子書籍という形で蓄積されている豊富な知識や情報を、デジタルネットワーク機能と融合させて、いわば「新しい本」のプロダクトデザインをしていく研究です。

デジタルネットワークには、可変性の高さや、多言語化の容易さ、アーカイブ機能の高さといった特性があります。紙や電子の書籍にこれらの利点を加えることで、「新しい知識構成体」を開発することを目的としています。

講談社はメディアドゥとともに東京大学を支援して共同研究を進めてまいります。すでに講談社ではブルーバックスの複数のコンテンツをもとに東京大学と実証実験を進めてきました（※2）。さらなるコンテンツ提供や、新しいデジタル教材の仕組みの開発、紙の本・電子書籍を活かしたネットワーク型コンテンツの開発などを目指していきます。

講談社は100年以上、「おもしろくて、ためになる」を社是として、さまざまな作品を世に送り出してきました。デジタルで世界が繋がったいま、新たに定めた講談社のブランドパーパス「**Inspire Impossible Stories**」の精神で、グローバルな文化の発展、豊かな社会づくりに貢献することを望んでいます。

この寄付講座による研究成果に、是非ご注目ください。

（※2）2017年4月～2021年3月まで大日本印刷（株）が「DNP 学術電子コンテンツ研究寄付講座」を設置、講談社提供のブルーバックスのコンテンツを横断的にAI解析するなど「ビヨンドブック」の研究を進めており、この研究を発展させるのも今回の寄付講座の目的の一つとなります。



## ◆本寄付講座の概要

設置期間 2022年4月1日～2025年3月31日

寄付講座の名称 講談社・メディアドゥ新しい本

担当教員 兼任教員 大学院情報学環 教授 渡邊 英徳  
専任教員 特任教授 柳 与志夫

研究内容・研究課題 書籍・電子書籍は信頼性、永続性は高いものの一度刊行されると情報はほとんど更新されず、テーマとそれに基づくテキストが固定化され、関連知識を得るにはほかの書籍などを参照する必要があり、一方通行の知識伝達媒体となっています。インターネットに存在する情報は随時更新される利点がある一方、知識レベルがバラバラで系統的知識を得にくいほか、信用に値する情報が見極めにくいことなどが課題となります。

本講座では、両者の利点を融合して、デジタルコンテンツの構築・利活用と、その基盤を支えるデジタルアーカイブに関わる新しい手法・技術・仕組みの研究開発を行います。具体的には、マイクロコンテンツ化やマルチメディア化を前提としたデジタル教材の編集と利用促進の仕組み、書籍・電子書籍に続くネットワーク型デジタルストラクチャの開発など、社会サービス・製品化につながるプロトタイプを製作します。